

# 摂食障害の心理支援講座

## 第1期：行動の『制限』の意味、症状を手放すこと

摂食障害、特に神経性やせ症の治療というと「もっと食べさせる」ことに目が向きがちですが、過剰なエネルギー消費を止めることは、治療の有効なツールの一つです。「部活動を制限する」「勉強時間を制限する」などさまざまな「制限」を必要とする場面は少なくありません。全く制限なしの「傾聴だけ」では、ほとんどの場合、状況は悪化する一方となりますが、制限は、適切な方法で行われないと治療に対する拒否感が強まるだけの結果になり、人権上の問題が生じる危険もあります。自分で止められない症状行動に対して、適切な量、タイミングの制限に直面することは、心理面を振り返るきっかけにもなり得ます。第1期は、これらの問題について多面的に考えていきたいと思えます。

### 講義1

## 外来治療の中での 「小さい制限」の在り方

講師：西園マーハ文先生

明治学院大学 心理学部心理学科 教授  
一般社団法人日本摂食障害協会 理事

### 講義2

## 症状を手放すこと ～入院治療の場合～

講師：林公輔先生

学習院大学 文学部心理学科 准教授  
一般社団法人日本摂食障害協会 理事

### 【日時】

第1回：令和3年 2月 10日（水）0:00～2月 21日（日）9:59  
講義1と2を録画したものを配信いたします（各講義2時間）。

第2回：令和3年 2月 21日（日）10:00～12:00

ライブ配信で講義1と2のポイント解説と質疑応答を行います。

### 【対象】

摂食障害の診療、治療、相談に携わる職種の方

※資格取得のために勉強中の学生、大学院生ほか

※上記にあてはまらない当事者やご家族は対象としていません。

※臨床心理士資格更新のためのポイントを申請予定です（2日間の参加が必須）。

### 【定員】

一般：先着 80 名 / 学生、大学院生：先着10名

### 【参加費】

一般：10,000円 / 学生、大学院生：4,000円

### 【会場】

Zoomを使用したオンラインセミナー

### 【申込】

URLあるいはQRコードよりお申し込みください。

<https://jaedseminar1.peatix.com>

### 【締切】

令和 3年 2月 8日（月）18:00

【お問い合わせ先】 一般社団法人 日本摂食障害協会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-33 2階 MAIL：[seminar@jafed.jp](mailto:seminar@jafed.jp)

